

平成17年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成16年8月4日

上場会社名 株式会社 横河ブリッジ
(URL <http://www.yokogawa-bridge.co.jp/>)

(コード番号：5911 東証第1部)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 原田 康夫

問合せ先責任者 役職名 業務本部経理部長 氏名 宮本 正信

TEL (03) 3453 - 4116

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計算等、一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(売上高の計上基準)

当社では従来、工期1年以上、かつ請負金額15億円以上、かつ期末出来高進捗率50%以上の工事について外貨建て契約工事を除き工事進行基準を採用していましたが、当第1四半期から工期1年以上、かつ請負金額1億円以上の工事について、工事進行基準を採用することに変更いたしました。

(固定資産の減損に係る会計基準)

当社では、当第1四半期から「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第1四半期業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	29,227	-	2,918	-	3,037	-	948	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	76,978		1,391		2,001		882	

(注)パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

なお、当連結会計年度から四半期業績の開示を行っておりますので、前年四半期実績および増減率を記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループの主要な事業であります鋼構造物のうち橋梁事業は、公共事業削減と発注価格縮減の動きが続いております。建築環境事業につきましても鋼材価格の上昇が続くなか採算の確保も厳しく、選別受注を続けており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況下にあります。

このような中、グループ各社が収益向上に努めました結果、当第1四半期の業績は概ね順調に推移いたしました。また、当第1四半期から当社において収益計上基準のうち進行基準の適用基準を変更しました。その結果、売上高292億2千万円、営業利益29億1千万円、経常利益30億3千万円となりました。しかし、当社において当第1四半期から「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用し、減損損失を特別損失に計上したため、9億4千万円の四半期純損失となりました。

なお、売上高の計上を従来の方法によった場合と比較して、売上高が191億9千万円増加し、営業利益、経常利益がそれぞれ36億9千万円増加しております。

[参考]

平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	46,000	3,950	400			
通期	83,000	5,500	400			

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 9円 77銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年3月期の連結業績予想につきましては、平成16年5月25日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上